

社会科学習指導案（略案）

呉市立広南中学校
指導者 浦上 晋次

- 1 日 時 令和2年2月27日（木曜日） 第2校時
- 2 学年・学級 第7学年A組（男子10名 女子7名 計17名）
- 3 単元名（本時） 世界から見た日本の自然環境
- 4 本時のねらい 身近に起きた自然災害の原因を地形の特色から考えることができる。
・教科の評価の観点……………『思考判断表現』 ・資質・能力【思考・表現】
- 5 学習の流れ

	教師の支援（学習活動を含む）	児童・生徒の活動（形態を含む） 指導上の留意点（・）	評価規準 【資質・能力】
導入 (5分) 課題意識を持つ	○前時の振り返りと家庭学習及び既習事項の確認を行う。 ICTペア 自分たちが調べた西日本豪雨の被災地で起きていた災害の原因を、ペアで確認する	・災害の原因やその地形の特徴についてまとめたものを発表できるように準備する	
めあて：西日本豪雨の被害から広南中校区内の危険箇所を考えよう。			
展開 (40分) 学びを深める	○前時に調べた西日本豪雨の被災地ではどのような所で、どのような災害が起きているかタブレットで発表する。 ○広南中校区内で、そのような危険な箇所はないか、地形図やグループアースを使って調べる。 ○それぞれのグループで写真や地形図を、タブレットを使いながら危険箇所を発表する。 ○土砂災害対応マニュアルと自分たちが探した危険箇所を比べて、気づいたことを交流する。	○グループごとに写真と地形図を比較しながら調査する。 ・大きな川の氾濫で洪水 ・溝のようにへこんでいるところ ・川や道路などの結がっているところ ・溝のようにへこみのあるところ ・川のあるところ ・急な斜面 ・自分たちの調べた場所と同じである。 ・自分たちの調べた場所とは違うところが指定されている。	教科の評価の観点『思考・表現』 タブレットを使いながら、事実を見つけ、自分の言葉でまとめ、発表している。 （ワークシート発表） 【思考・表現】
終末 (5分) 振り返る学習過程を	○生徒のことばでまとめさせる。 振り返りシートに記入する。		
まとめ：川や急な斜面のある所が危険箇所になっている。			

〔働かせる社会的な見方・考え方〕

社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結びつき

などの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること